

滋賀工場

1 工場概要

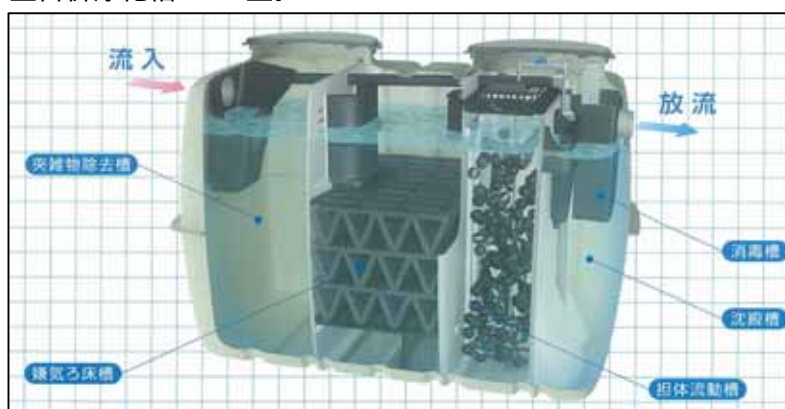
- ▶ 住所 〒520-211 滋賀県湖南市高松町2番1
- ▶ 従業員数 97名 (外部工・パート:28名含む)
- ▶ 敷地面積 本工場：128,305m² 飛地：51,577m²

2 事業概要

- ▶ 事業内容 1. 小型合併浄化槽、浴槽の開発・製造
2. 中・大型浄化槽の開発

- ▶ 主要製品

【小型合併浄化槽：KJ型】



【FRP浴槽】



3 工場変遷

- | | |
|--------------|--|
| 昭和45年 (1970) | 工場完成 操業開始 |
| 昭和45年 (1970) | SMC法によるFRP浴槽の生産を開始 |
| 昭和46年 (1971) | SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始 |
| 昭和48年 (1973) | カラーベスト工場を新設し生産を開始 |
| 昭和62年 (1987) | カラーベスト工場、新ラインを増設 |
| 平成 8年 (1996) | SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始 |
| 平成12年 (2000) | 「ISO14001」の認証を取得 |
| 平成14年 (2002) | 浄化槽製造における「ISO9001」の認証を取得 |
| 平成15年 (2003) | カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立
(新会社名 クボタ松下電工外装株式会社) |

4 環境方針

▶ ISO環境方針



環 境 方 針

滋賀工場は、下流に近畿の水瓶・琵琶湖を控えた**湖南工業団地**に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の**住宅関連製品**を設計・生産している。

当工場は、**企業の社会的責任**として**環境調和型創造企業**を目指し、行動指針を以下の通り定め、**地域・湖国及び地球の環境保全の向上**に貢献する。

1. 製品の研究・開発及び製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“**活動**”及び“**製品**”、“**サービス**”を対象として次の課題に取り組む。

省エネルギーの推進

廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進

水質・大気の排出管理の維持強化

環境影響の最小化を目指した製品開発

2. **継続的な環境改善と汚染の予防**に努める。
3. **環境関連法、条例、その他の要求事項**を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた**環境マネジメントシステム**構築により、**環境の目的・目標**を設定し、**実行**すると共に、**定期的レビュー**を行う。
5. 本方針は、**文書等**で「**工場働く人**」全員に周知し、**意識の高揚と確実な実行**を図る。

▶ ISO認証取得状況

平成12年 5月 「ISO14001」認証取得

平成14年 5月 浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

5 環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2008年度		
				目標	成果	自己評価
地球温暖化防止	CO ₂ の削減	CO ₂ 排出原単位	2007	1%	3.5%増加	×
		CO ₂ 排出量	1990	1990年度以下	7.7%	
	物流のCO ₂ 削減	CO ₂ 排出原単位	2007	1%	8.5%増加	×
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2007	2%	67.7%増加	×
		排出量	2007	2%	53.0%増加	×
	ゼロ・エミッション	埋立比率	-	0.9%	0.2%	
有害化学物質の削減	PRTR法対象物質の削減	排出移動原単位	2007	2%	1.8%	×
		排出移動量	2007	2%	10.4%	

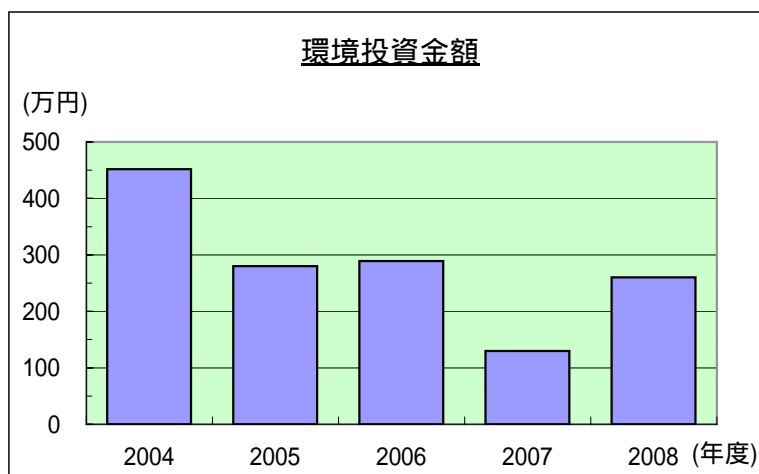
自己評価の基準 …… 目標超過達成 …… 目標達成 × …… 目標未達成

6 環境会計

環境投資

2008年度: 250万円

- ・金型置き場新設に伴う、鳩侵入防止対策
- ・飛び地産業廃棄物保管場所入口ゲート設置
- ・2500tプレス局所排気装置設置による作業環境改善



環境保全効果

効果の内容		2007年度	2008年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	63,911	59,061	4,850	92.4%
	水使用量(m ³)	182,545	150,196	32,349	82.3%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	2,508	2596	88	103.5%
	SO _x 排出量(t)	-	-	-	-
	NO _x 排出量(t)	0.0663	0.0501	0.0162	75.6%
	ばいじん排出量(t)	-	-	-	-
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	28.8	26.0	2.8	90.2%
	廃棄物排出量(t)	326.8	500.0	173.2	153.0%
	廃棄物埋立量(t)	0.9	1.3	0.4	139.0%

経済効果

2008年度: 36万円

エア洩れ・蒸気洩れ補修で36万円/年のロス低減と推測

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	エア洩れ・蒸気洩れ補修(都度対応)	36万円
ゼロ・エミッション化対策	特になし	
物流環境保全対策	特になし	
合計		36万円

滋賀工場

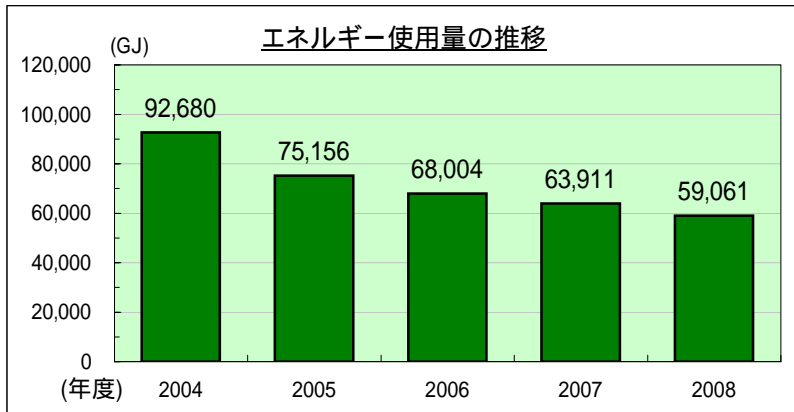
7 環境パフォーマンス

地球温暖化の防止

省エネルギー活動

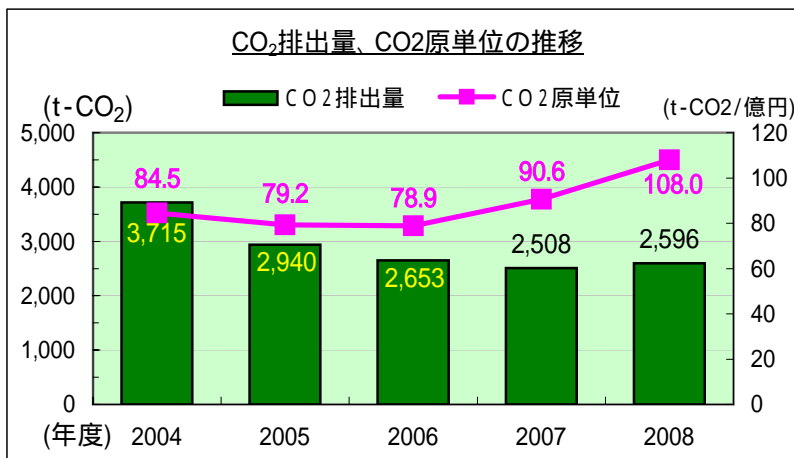
工程内使用接着剤の1部を熱硬化性から常温硬性に変更し、熱硬化炉を廃止。蒸気使用量の削減を実施しました。

また、蒸気・エア洩れのパトロールを行い、適宜修理を実施しています。



CO₂排出量の削減

生産量減少に伴い設備停止時間が増加しましたが、ユーティリティーがクボタ松下電工外装(株)と同一の為、停止する事が出来ず、ロスが発生した事が大きな要因です。



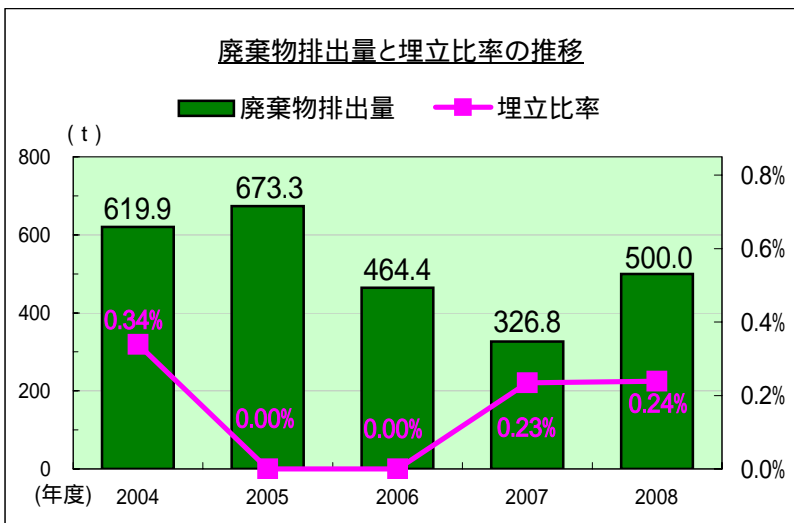
循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

前年度と比較して、大幅に増加しているのは、大掛かりな工場内の3S及び、長期滞留品の整理を行った為です。

ゼロ・エミッション

事業活動に伴い発生する廃棄物については、再資源化に努め、ゼロ・エミッション化を推進しています。



2006～2007年度の廃棄物排出量について、算出定義を見直したため、過去に開示した値と異なります。

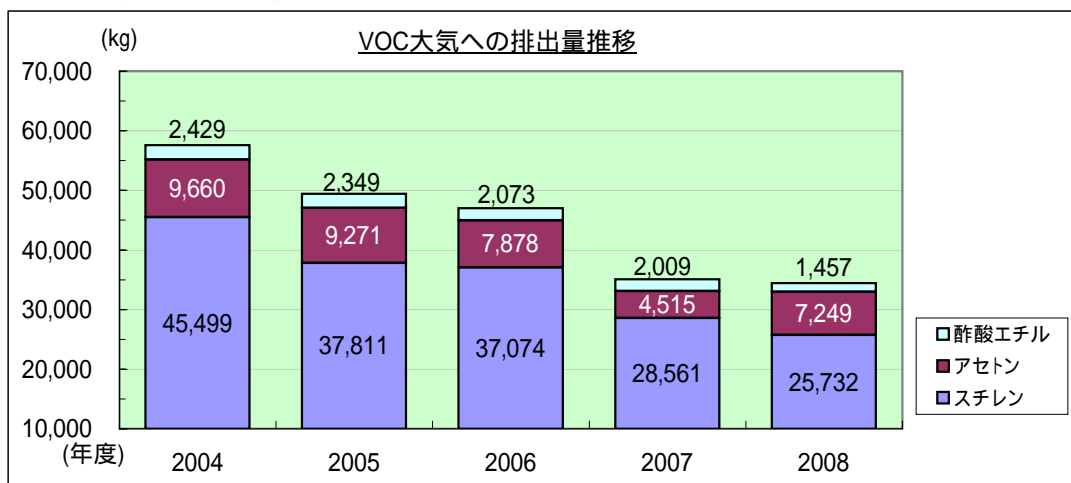
注: 2004～2006年度 埋立比率(%) = 埋立量 ÷ 廃棄物排出量

2007～2008年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

滋賀工場

有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減



PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
0009	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	-	-	-	-	-	174
0177	スチレン	25,732	-	-	-	-	-
0270	フタル酸ジ-n-ブチル	-	-	-	-	-	48

8 環境コミュニケーション

地域美化活動

名称 : 環境月間工場周辺一斉清掃

実施日 : 平成20年6月26日(木) 15:00 ~ 16:30

参加人数 : クボタ 20名 KMEW 20名



滋賀工場

名 称 : 冬期工場周辺一斉清掃

実 施 日 : 平成20年11月25日(火) 14:30 ~ 15:30

参加人数 : クボタ 13名 KMEW 15名



名 称 : びわ湖の日美化活動

実 施 日 : 平成20年12月 1日(月) 9:30 ~ 11:00

参加人数 : クボタ 1名 KMEW 3名



滋賀工場

9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	290	28,914
	石炭コークス	t	0	0
	都市ガス	千m ³	670	30,147
	灯油	k	0	0
	軽油	k	0	0
	重油	k	0	0
	LPG	t	0	0
	他		0	0
	合計		960	59,061

水使用量	万m ³	15.02
------	-----------------	-------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,596
---------------------	-------------------	-------

放流先	項目	単位	末端放流口		工程処理下水排水口	
			規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域	pH	-	6.0~8.5	7.6	-	-
	BOD	mg/	20	5	-	-
	COD	mg/	20	3	-	-
	窒素	mg/	8	-	-	-
	りん	mg/	0.8	-	-	-
	六価クロム	mg/	0.05	不検出(<0.02)	-	-
	鉛	mg/	0.1	不検出(<0.01)	-	-
	COD総量規制値	kg/日	100	0.79	-	-
	窒素総量規制値	kg/日	-	-	-	-
	りん総量規制値	kg/日	-	-	-	-
下水道	pH	-	-	-	5を越え9未満	6.9
	BOD	mg/	-	-	600	112
	COD	mg/	-	-	-	100
	SS	mg/	-	-	600	1未満

廃棄物排出量	t	500
埋立比率	%	0.2%